

心の雑草図鑑

“月かげばかりぞ八重葎^{やえむら}にもさわらずさし入りたる”これは源氏物語の桐壺の一節である。
帝^{みかど}の使者が今は亡き愛人更衣^{こうい}の実家、光源氏の門前にたたずみ、ヤエムグラを通した月光の下、無言で来意を告げる光景である。

また、“八重葎茂りて門を閉ぢ、私はぬ庭に落葉積りて、秋風吹きし跡もなし”とは嵯峨野の奥に、恋に破れ、世人を絶ちて庵を結ぶ齊藤時頼にその罪をわび、しのび訪れた横笛の切ない願を描写した櫛牛の美文。

その他、万葉集や古歌にロマンチックに響くこのヤエムグラは、多分発生の時期、場所からして植物図鑑にみられるカナムグラであろうと想像される。

ヤエは葉の重なっている意であり、ムグラはモグラとも訓じ繁茂の状態を指す。さらにカナは鉄の意で強ごうを意味するという。

さて、図鑑のヤエムグラを子供の頃、私はクンショウグサと呼んだ。

私は、小学校を和服で通したが、着物姿にこの葉をちぎり胸につけて遊んだもので、いわば腕白時代のはけ口を助けてくれたのがこの草でもある。当時、桑畑の草取りに追いまわされた私ではあったがこのクンショウグサだけではどうしても憎めなかった。

そして、その後多少女を恋慕^{ひと}し、色気づいた私の感性に、光源氏のわび住いの門前で使者の心を静め、あるいは恋にやつれた横笛の愁眉につきそってくれたヤエムグラが、ここでカナムグラであると強いられていささか抵抗を感じたものである。

何時、誰が図鑑のようにヤエムグラ、カナム

目 次

長野県における

りんご園の雑草調節

長野県園芸試験場

横 田 清…………… 2

温州ミカンに対する

離層形成剤

農林省園芸試験場興津支場

山 本 正 幸…………… 7

畑作除草剤の普及について

—茨城県編—

茨城県教育普及課専門技術員

岡 田 栄…………… 16

受賞者の横顔

栗 山 尚 志 氏…………… 19

清 水 茂 氏…………… 19

志 礼 治 氏…………… 19

高 杉 喜 一 氏…………… 19

昭和48年度秋冬作そ菜・花卉関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要

(財)日本植物調節剤研究協会…………… 20

新除草・調節剤…………… 24

グラと名づけたかは寡聞にして知らないが、いまだにクンショウグサとヤエムグラの訂正を私の心は許してくれてはいない。

畑雑草防除で飯を喰わしてもらっている私は、研究の場でこれらの草になやまされながらもついぞ、憎めないでいるのである。こんなことを、散策につき添ってくれる娘にそれとなく話し、心の図鑑を伝承させたいと願う昨今である。

(農林省農事試験場畑作部 中沢 秋雄)